

## 長谷川利行展

このたび久留米市美術館では、関東大震災から太平洋戦争直前までの東京を描き続けた画家、長谷川利行（はせかわとしゆき、1891-1940）を紹介します。長谷川利行は、30歳頃に上京して画家を志すと、1936年に二科展で樗牛賞を受賞するなど、一気に画家としての才能を開花させました。しかし、生来の放浪癖から次第に生活は破綻し、路上で倒れると、養老院で誰にも看取られることなく49歳の生涯を閉じました。

震災から復興する東京に暮らし、遊園地やプールといったモダンな建築物、カフェの女給や子どもなど市井の人を、素早く力強いタッチで描いた利行。約20年ぶりの大回顧展となる本展では、新発見の大作《白い背景の人物》や、隅田公園に建設されたプールを題材とした《水泳場》といった、油彩画のほか、水彩画やガラス絵など約140点の作品によって、長谷川利行の全貌に迫ります。なお、長谷川利行の大回顧展は、九州で初めての開催となります。ぜひ、周知のため広報にご協力いただきますようお願いいたします。

展覧会名	長谷川利行展
会期	2018年9月22日（土）-11月4日（日）
出品点数	約140点（10月16日から一部作品の入れ替えがあります）
会場	久留米市美術館（本館2階）
主催	久留米市美術館、西日本新聞社、RKB毎日放送
協力	長谷川利行の会
後援	久留米市教育委員会
企画協力	一般社団法人 INDEPENDENT
スペシャルパートナー	株式会社ブリヂストン
オフィシャルパートナー	学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店
入館料	一般1,000円（800円） シニア700円（500円） 大学生500円（300円） 高校生以下無料 ※（ ）内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上、前売りあり。上記料金にて石橋正二郎記念館もご覧いただけます。 11月3日（土）文化の日は入館無料
休館日	月曜日（ただし、9月24日と10月8日は開館）
開館時間	10:00-17:00（入館は16:30まで）
交通案内	JR 博多駅より JR 久留米駅まで新幹線で20分、快速で40分 福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関するお問い合わせ	久留米市美術館 展覧会担当：森 智志 広報担当：森 智志、中山 景子 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015（石橋文化センター内） TEL0942-39-1131/ FAX0942-39-3134

## 展覧会のみどころ

### その1 新発見の作品

今回の展覧会準備の段階で新しく発見された《白い背景の人物》をはじめ、2006年に見つかった《水泳場》、2009年に人気テレビ番組に出品されて話題となった《カフェ・パウリスタ》。近年発見された利行の大作を紹介します。



①《白い背景の人物》1937年  
個人蔵



②《水泳場》1932年  
板橋区立美術館蔵



③《カフェ・パウリスタ》1928年  
東京国立近代美術館蔵

### その2 昭和初期の建物

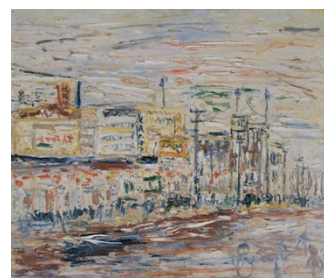
関東大震災以後の東京を描いた利行の作品には、ビルや地下鉄などモダンな建物のほか、機関車の車庫や工場といった場所も描かれており、近代化が進む街中と工業都市としての一面を持つ当時の東京の姿を現代に伝えています。



④《汽罐車庫》1928年  
鉄道博物館蔵



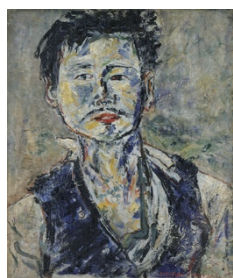
⑤《夏の遊園地》1928年  
個人蔵



⑥《新宿風景》1937年  
東京国立近代美術館蔵

### その3 肖像画

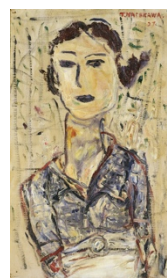
変化する東京の街だけではなく、そこで暮らす市井の人も、利行はよく描きました。カフェの女給である《ノアノアの少女》や、利行を慕った画家の《鬘光像》など、いずれもモデルの眼差しは柔らかく、利行とモデルの親密な関係を想像させます。



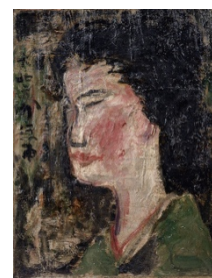
⑦《鬘光像》1928年  
個人蔵



⑧《ハーゲンバックの少女》  
1936年 個人蔵



⑨《ノアノアの少女》1937年  
愛知県美術館蔵  
(木村定三コレクション)



⑩《大和家がほる》1935年  
個人蔵

PRESS RELEASE  
2018.09.27

**関連事業**

美術講座①「描くこと、生きること」

10月13日（土）14：00－15：30（開場13：30）

会場：本館1階多目的ルーム 定員：先着70名（聴講無料）

講師：原田 光氏（本展監修者、美術史家）

利行の紹介を中心に、美術と生活の関係についてお話ししてもらいます。

美術講座②「利行が歩いた東京 帝都復興の時代」

10月27日（土）14：00－15：30（開場13：30）

会場：本館1階多目的ルーム 定員：先着70名（聴講無料）

講師：小林真結氏（府中市美術館学芸員）

利行について、東京の地理的・歴史的視点をからめてお話ししてもらいます。

**作品掲載に関するお願い**

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
6. 掲載見本を必ず1部お送りください